

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

令和 6 年 4 月 30 日

都道府県知事 殿

病院名 京都第二赤十字病院
開設者 日本赤十字社京都支部長 西脇 隆俊

医師法第 16 条の 2 第 1 項に規定する臨床研修に関する省令（平成 14 年厚生労働省令第 158 号）第 12 条に基づき、年次報告書を提出いたします。
また、併せて、同省令第 9 条に基づき、**1.** 研修プログラムの変更、**2.** 研修プログラムの新設を届け出ます。
（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

1. 基幹型臨床研修病院 **2.** 協力型臨床研修病院 （報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

- ・項目番号 1 から 27 までについては、年次報告において記入してください。
- ・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号 28 から 38 までについても記入してください。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 1 －

病院施設番号： 030477

臨床研修病院の名称： 京都第二赤十字病院

記入日：西暦 2024 年 4 月 30 日

病院施設番号 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に番号を取得している臨床研修病院については 病院施設番号を記入してください。	030477	臨床研修病院群の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に臨床研修病院群番号を有している臨 床研修病院群については、番号も記入し てください。	名称：京都第二赤十字臨床研修病院群 番号：0304775
作成責任者の氏名及び連絡先 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 本報告書の問合せに対して回答できる作成 責任者について記入してください。	フリガナ タニグチ ジロウ 氏名 (姓) (名) 谷口 治郎	役職 教育研修課長 (内線 8139) (直通電話 (075) 212—6238) e-mail : kensyu@kyoto2.jrc.or.jp (携帯電話のメールアドレスは不可とします。)	
1. 病院の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small>	フリガナ キョウトダニセキジユウジヒョウイン 京都第二赤十字病院		
2. 病院の所在地及び二次医 療圏の名称 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒 602-8026 (京 都 都 ・ 道 ・ 府 県) 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355-5 電話 : (075) 231-5171 F A X : (075) 256-3451 二次医療圏 の名称 : 京都・乙訓		
3. 病院の開設者の氏名 (法 人の名称) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ ニホンセキジユウジシヤキョウトフシブチョウ ニシキ タトシ 日本赤十字社京都府支部長 西脇 隆俊		
4. 病院の開設者の住所 (法 人の主たる事務所の所在 地) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒 602-8044 (京 都 都 ・ 道 ・ 府 県) 京都市上京区下立売通油小路西入東橋詰町 178 電話 : (075) 468-1182 F A X : (075) 468-1789		
5. 病院の管理者の氏名 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ コバヤシ 姓 小林	ユカ 名 裕	
6. 研修管理委員会の構成員の氏名 及び開催回数 <small>(基幹型記入)</small>	* 別紙1に記入 研修管理委員会の全ての構成員(協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。)について記入してください。		
7. 病院群の構成等 <small>(基幹型記入)</small>	* 別表に記入 病院群を構成する全ての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。		
8. 病院のホームページアドレス <small>(基幹型・協力型記入)</small>	https://www.kyoto2.jrc.or.jp/		

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 2 －

病院施設番号： 030477

臨床研修病院の名称： 京都第二赤十字病院

		※	
9. 医師（研修医を含む。）の員数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>			常勤： 228名、非常勤（常勤換算）： 15.5名 計（常勤換算）： 243.5名、医療法による医師の標準員数：55.73名 * 基幹型臨床研修病院は、当該病院が管理している研修医の氏名等について様式3に記入
10. 救急医療の提供の実績 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	救急病院認定の告示		告示年月日：西暦 1964年 11月 4日、告示番号：第522号
	医療計画上の位置付け		1. 初期救急医療機関 2. 第二次救急医療機関 ③. 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無		①. 有 (162,690) m ² 0. 無
	救急医療の実績		前年度の件数： 16,939 件（うち診療時間外： 14,012 件） 1日平均件数： 46.3 件（うち診療時間外： 38.3 件） 救急車取扱件数： 7,453 件（うち診療時間外： 5,726 件）
	診療時間外の勤務体制		医師： 8名、看護師及び准看護師： 4名
	指導を行う者の氏名等		* 別紙4に記入
	救急医療を提供している診療科		内科系（①. 有 0. 無） 外科系（①. 有 0. 無） 小児科（①. 有 0. 無） その他（産婦人科）
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） <small>（基幹型・協力型記入）</small>			1. 一般： 663 床、2. 精神： _____ 床、3. 感染症： _____ 床 4. 結核： _____ 床、5. 療養： _____ 床
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>			* 別紙2に記入 年次報告の場合には、患者数は報告年度の前年度分、研修医の数は報告年度の前年度分の実績と当年度分の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合には、患者数は届出年度の前年度分、研修医の数は届出年度の次年度分及び次々年度分の想定を記入。
13. 病床の種別ごとの平均在院日数 <small>（小数第二位四捨五入）</small> <small>（基幹型・協力型記入）</small>			1. 一般： 10.6 日、2. 精神： _____ 日、3. 感染症： _____ 日 4. 結核： _____ 日、5. 療養： _____ 日
14. 前年度の分娩件数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>			件数： 143 件（正常分娩件数： 101 件、異常分娩件数： 42 件）
15. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	開催回数		前年度実績： 6 回、今年度見込： 6 回 ※報告・届出病院の主催の
	指導を行う病理医の氏名等		* 別紙4に記入 下に開催した回数を記入
	剖検数		前年度実績： 5 件、今年度見込： 6 件
	剖検を行う場所	当該医療機関の剖検室	①. 有 0. 無（ _____ ）大学、（ _____ ）病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
16. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	研修医の宿舎		1. 有（単身用： _____ 戸、世帯用： _____ 戸） ①. 無（住宅手当：28,500円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。
	研修医室		①. 有（ 1 室） 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	図書室の広さ		(98.235) m ²
	医学図書数		国内図書： 2577 冊、国外図書： 64 冊
	医学雑誌数		国内雑誌： 373 種類、国外雑誌： 78 種類
	図書室の利用可能時間		0：00 ～ 24：00 24時間表記
	文献データベース等の利用環境		Medline等の文献データベース ①. 有 0. 無）、教育用コンテンツ ①. 有 0. 無）、 その他（インターネット利用可能） 利用可能時間（ 0：00 ～ 24：00 ）24時間表記
	医学教育用機材の整備状況		医学教育用シミュレーター ①. 有 0. 無）、 その他（静脈穿刺台 数台、ACLS用 4台、CUC穿刺用 1台等）

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 3 －

病院施設番号： 030477

臨床研修病院の名称： 京都第二赤十字病院

18. 病歴管理体制 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	病歴管理の責任者の氏名及び役職	ツガナ ミヤト トミオ 氏名(姓) 宮本 (名) 富夫	役職 情報マネジメント課長	
	診療に関する諸記録の管理方法	①. 中央管理 2. 各科管理 その他(具体的に:)		
	診療録の保存期間	() 5年間保存		
	診療録の保存方法	1. 文書 ②. 電子媒体 その他(具体的に:)		
19. 医療安全管理体制 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	安全管理者の配置状況	①. 有 (1名) 0. 無 <small>有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。</small>		
	安全管理部門の設置状況	職員：専任 (4) 名、兼任 (9) 名 主な活動内容：①医療事故発生の実態把握及び解析②医療事故の再発対策・検討③発生した医療事故及び医療紛争への対応等④医療事故事例等の情報収集と周知⑤医療安全に関する教育及び研修		
	患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談窓口の責任者の氏名等： ツガナ フジワ ヒロシ 氏名(姓) 藤原 (名) 浩芳 役職 副院長 対応時間 (8:30 ~ 17:00) 24時間表記 患者相談窓口に係る規約の有無：①. 有 0. 無		
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	①. 有 0. 無 指針の主な内容： ・医療事故防止対策と対応 ・医療事故発生対応		
	医療に係る安全管理委員会の開催状況	年(12)回 活動の主な内容： インシデント・アクシデントレポートの集約及び対策		
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年(31)回 研修の主な内容：医療安全のための研修(全職員研修と職種別)		
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策	医療機関内における事故報告等の整備：①. 有 0. 無 その他の改善のための方策の主な内容：報告されたインシデント・アクシデントレポートのうち、重大なものについては、医療安全推進室会議にて実態把握並びに解析を行い、必要に応じて具体的な改善方策を検討の上策定している。		
20. 前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	修了： 18名 中断： 01名			
21. 現に受け入れている研修医の数 <small>(基幹型・協力型記入)</small>		前々年度	前年度	当該年度
	1年	18	17	17
	2年	18	18	16
22. 受入可能定員 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	許可病床数(歯科の病床数を除く。)から算出	許可病床数 (663) 床 ÷ 10 = (66.3) 名		
	患者数から算出	年間入院患者数 (15,165) 人 ÷ 100 = (151.65) 名		
23. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 <small>(基幹型・協力型記入)</small> <small>精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。</small>	1. 精神保健福祉士： 4名(常勤： 4名、非常勤：)名			
	2. 作業療法士： 7名(常勤： 7名、非常勤：)名			
	3. 臨床心理技術者： 名(常勤： 名、非常勤：)名			
	9. その他の精神科技術職員： _____ 2名(常勤： 2名、非常勤：)名			
24. 臨床研修に関する第三者評価の受審状況 <small>(基幹型記入)</small>	①. 有(評価実施機関名：卒後臨床研修評価機構(2022年10月18日)) 0. 無 <small>有を選択した場合には、評価実施機関名及び直近の受審日を記入してください。</small> 受審状況有りの場合、結果の公表 ①. 有 0. 無			

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－４－

病院施設番号： 030477

臨床研修病院の名称： 京都第二赤十字病院

項目 27 までについては、報告時に必ず記入してください。		※
25. 時間外・休日労働の実績及び最大想定時間数 (基幹型記入)		* 別紙 5 に記入 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度の想定を記入。
26. 前年度に育児休業を取得した研修医の数 (基幹型・協力型記入)		女性 1 年次研修医 (0) 名 2 年次研修医 (0) 名 男性 1 年次研修医 (0) 名 2 年次研修医 (0) 名
27. 研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項 (基幹型・協力型記入)	院内保育所	院内保育所の有無 (1) 有 0. 無) 有を選択した場合、開所時間を記入してください (時 分 ~ 時 分) 病児保育 (1) 有 0. 無) 夜間保育 (1) 有 0. 無) 上記保育所は研修医の子どもに使用可能か (1) 可 0. 不可)
	保育補助	ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 (1) 有 0. 無) その他の補助 (具体的に :)
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所	休憩場所 (1) 有 0. 無) 授乳スペース (1. 有 (0) 無)
	その他育児関連施設・取組があれば記入 (院外との連携した取組もあれば記入)	()
	研修医のライフイベントの相談窓口	(1) 有 0. 無 窓口の名称がある場合記入 (教育研修課) 窓口の専任担当 1. 有 (名) (0) 無
	各種ハラスメントの相談窓口	窓口の名称を記入 () 窓口の専任担当 1. 有 (名) (0) 無
※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。		
28. 研修プログラムの名称 (基幹型・協力型記入) プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。		研修プログラムの名称： 京都第二赤十字病院臨床研修 H プログラム プログラム番号： _____
29. 研修医の募集定員 (基幹型記入)		1 年次： 17 名、2 年次： 17 名
30. 研修医の募集及び採用の方法 (基幹型記入)	研修プログラムに関する問い合わせ先	フリガナ カノ シンジ 氏名 (姓) 岡野 晋治 所属 第 1 外科 役職 部長 電話：(075) 231—5171 FAX：(075) 256—3451 e-mail：kensyu@kyoto2.jrc.or.jp URL：https://www.kyoto2.jrc.or.jp/
	資料請求先	住所 〒 602-8026 (京都 都・道 (府) 県) 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355-5 担当部門 担当者氏名 フリガナ タニグチ シンジ 姓 谷口 姓 治郎 電話：(075) 231—5171 FAX：(075) 256—3451 e-mail：kensyu@kyoto2.jrc.or.jp URL：https://www.kyoto2.jrc.or.jp/

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 5 －

病院施設番号： 030477

臨床研修病院の名称： 京都第二赤十字病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

30. 研修医の募集及び採用の方法（続き） <small>（基幹型記入）</small>	募集方法	①. 公募 ②. その他（具体的に： _____）
	応募必要書類 （複数選択可）	①. 履歴書、②. 卒業（見込み）証明書、③. 成績証明書、 ④. 健康診断書、⑤. その他（具体的に： _____）
	選考方法 （複数選択可）	①. 面接 ②. 筆記試験 その他（具体的に： _____）
	募集及び選考の時期	募集時期： 7 月 6 日頃から 選考時期： 8 月 25 日頃から
	マッチング利用の有無	①. 有 ②. 無
31. 研修プログラムの名称及び概要 <small>（基幹型記入）</small>		概要： * 別紙3に記入 （作成年月日：西暦 2024 年 4 月 30 日）
32. プログラム責任者の氏名等（副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等） <small>（基幹型記入）</small> * プログラム責任者の履歴を様式2に記入 * 副プログラム責任者が配置されている場合には、副プログラム責任者の履歴を様式2に記入		（プログラム責任者） フリガナ 岡野 晋治 氏名（姓） 岡野 晋治 所属 第1外科 役職 部長 （副プログラム責任者） ①. 有（ 1 名） ②. 無
33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 <small>（基幹型記入）</small> 全ての臨床研修指導医等（協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。）について氏名等を記入してください。		* 別紙4に記入
34. インターネットを用いた評価システム		①. 有（ EPOC ・その他（ _____ ） ） ②. 無
35. 研修開始時期 <small>（基幹型、地域密着型記入）</small>		西暦 2025 年 4 月 1 日
36. 研修医の処遇 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	処遇の適用 <small>（基幹型臨床研修病院は、2に○をつけて、以下の各項目について記入してください。）</small>	1. 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 1を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。 ②. 病院独自の処遇とする。
	常勤・非常勤の別	①. 常勤 ②. 非常勤
	研修手当	一年次の支給額（税込み） 基本手当／月） 270,000 円） 賞与／年（400,000 円） 二年次の支給額（税込み） 基本手当／月（285,000 円） 賞与／年（400,000 円）
	勤務時間	時間外手当： ①. 有 ②. 無 休日手当： ①. 有 ②. 無 基本的な勤務時間（ 8：30 ～ 17：00 ） 24 時間表記 休憩時間（ 45 分間 ） 時間外勤務の有無： ①. 有 ②. 無
	休暇	有給休暇（1年次： 13 日、2年次： 14 日） 夏季休暇 ①. 有 ②. 無 年末年始 ①. 有 ②. 無 その他休暇（具体的に： 創立記念日（5月1日） _____）
	当直	回数（約 5 回／月）
	研修医の宿舍（再掲）	①. 有（単身用： _____ 戸、世帯用： _____ 戸） ②. 無（住宅手当：28,500 円） <small>有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舍の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。</small>
	研修医室（再掲）	①. 有（ 1 室） ②. 無 <small>有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。</small>
	社会保険・労働保険	公的医療保険（社会保険 _____） 公的年金保険（厚生年金保険 _____） 労働者災害補償保険法の適用 ①. 有 ②. 無）、 国家・地方公務員災害補償法の適用（ ①. 有 ②. 無） 雇用保険 ①. 有 ②. 無

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 6 －

病院施設番号： 030477

臨床研修病院の名称： 京都第二赤十字病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

36. 研修医の処遇（続き） （基幹型・協力型記入）	健康管理	健康診断（年 2 回） その他（具体的に)
	医師賠償責任保険の扱い	病院において加入 (1) する 0. しない 個人加入 (1. 強制 0. 任意)
	外部の研修活動	学会、研究会等への参加：(1) 可 0. 否
		学会、研究会等への参加費用支給の有無：(1) 有 0. 無
	院内保育所（再掲）	院内保育所の有無 (1) 有 0. 無 有を選択した場合、開所時間を記入してください（7時30分～18時00分）
		病児保育 (1) 有 0. 無 夜間保育 (1) 有 0. 無
		上記保育所は研修医の子どもに使用可能か (1) 可 0. 不可
	保育補助（再掲）	ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 (1) 有 0. 無
		その他の補助（具体的に：)
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所（再掲）	休憩場所 (1) 有 0. 無 授乳スペース (1. 有 0. 無)
その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）（再掲）	()	
研修医のライフイベントの相談窓口（再掲）	(1) 有 0. 無 窓口の名称がある場合記入（ 教育研修課 ） 窓口の専任担当 1. 有（ 名） 0. 無	
各種ハラスメントの相談窓口（再掲）	窓口の名称を記入（ メンタルヘルス相談室 ） 窓口の専任担当 1. 有（ 名） 0. 無	
37. 研修医手帳（基幹型記入）	(1) 有 0. 無	
38. 連携状況（基幹型記入）	* 様式6に記入	

※欄は、記入しないこと。

(記入要領)

- 1 研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけること。
- 2 報告又は届出を行う臨床研修病院の型に応じて、「1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院」の番号に○をつけること。
- 3 特に定めのあるもののほか、原則として、報告・届出日の属する年度（以下「報告・届出年度」という。）の4月1日現在で作成すること。
- 4 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入し、前回提出した報告書の内容と異なる項目について記入すること。
- 5 各項目に、記入が必要な臨床研修病院の型を記載しているため、臨床研修病院の型に合わせて、記入が必要な項目について記入すること。
- 6 (基幹型・協力型記入)と記載されている項目は、基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院の全ての臨床研修病院が記入対象となること。
- 7 (1. 有 0. 無)のように選択形式の項目は、いずれかに○をつけること。
- 8 項目番号1から26までについては、年次報告において記入すること。
- 9 研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号27から37までについても記入すること。
- 10 ※欄は、記入しないこと。

- 11 「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とする。
- 12 「病院群の構成等」欄は、病院群を構成する全ての臨床研修病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について別表に記入すること。

13 「病院のホームページアドレス」欄は、当該病院がホームページを有する場合にのみ記入することで差し支えないこと。

14 「医師(研修医を含む。)の員数」欄について

- (1)「医療法第21条の規定に基づく人員の算定に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号)に基づき、当該病院に勤務する医師(研修医を含む。)について記入すること。なお、歯科医師は算定しないこと。
- (2)「常勤」とは、原則として当該病院で定めた医師の勤務時間の全てを勤務する者をいうものであること。
- (3)「非常勤」については、常勤以外の医師について、次に掲げる換算式により常勤換算をした数を記入すること。

※ 換算式

$$\frac{\text{非常勤医師の1週間の勤務時間数}}{\text{常勤医師の1週間の勤務時間数}} = \text{常勤換算をした数 (小数第二位を四捨五入)}$$

- (4)「計(常勤換算)」については、常勤医師数と非常勤医師を常勤換算した数の合計を記入すること。
- (5)「医療法による医師の標準員数」は、医療法施行規則第19条第1項第1号の規定に従い、次に掲げる算出式により算出すること(患者数は、入院及び外来とも報告・届出年度の前年度の1日平均とすること)。

※ 算出式

$$\left[\frac{\text{精神病床及び療養病床に係る入院患者数 (歯科の入院患者数を除く。)} + \text{精神病床及び療養病床以外の病床に係る入院患者数 (歯科の入院患者数を除く。)}}{\text{<。>}} + \frac{\text{外来患者数 (精神科、耳鼻咽喉科、眼科及び歯科の外来患者数を除く。)} + \text{精神科、耳鼻咽喉科及び眼科の外来患者数}}{\text{<。>}} - 52 \right] \times \frac{1}{16} + 3 = \text{医師の標準員数}$$

ただし、医療法施行規則第43条の2に該当する病院については、上記算出式によらないものとする。

- (6) 当該病院の研修プログラムで研修を行っている全ての研修医の氏名等について、様式3に記入すること(歯科医師は記入しない)。
- 15 「救急医療の提供の実績」欄について
- (1)「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第186号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日(西暦)及び告示番号を記入するものであること。
 - (2)「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に○をつけるものであること。
 - (3)「救急専用診療(処置)室の有無」欄は、救急専用診療(処置)室を有する場合には、「1. 有」に○をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「0. 無」に○をつけること。
 - (4)「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数(来院方法を問わず、全ての件数)、「1日平均件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数(365又は366)で除した数、また、「救急車取扱件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数のうちで来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。
 - (5)「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。
 - (6)「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について別紙4に記入すること。
 - (7)「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に○をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。

16 「医療法上の許可病床数(歯科の病床数を除く。)」欄は、当該病院の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。

17 「診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数」欄は、入院患者・外来患者の数においては、年次報告、研修プログラム変更・新設届出共に提出の前年度の実績を記入すること。研修医の数においては、年次報告では提出年度の前年度の実績と当該年度の想定を別葉にて記入し、研修プログラム変更・新設届出では、提出年度の次年度及び次々年度の想定を別葉にて記入すること。

17 「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、次に掲げる算出式により算出した、報告・届出年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、報告・届出年度の前年度の毎日0時現在の在院患者数を合計した数とすること。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※ 算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1/2 (\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})} = \text{平均在院日数 (小数第二位を四捨五入)}$$

- 18 「前年度の分娩件数」欄は、報告・届出年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。
- 19 「臨床病理検討会（CPC）の実施状況」欄について
- （1）「開催回数」欄は、報告・届出病院の主催の下に開催したCPCの報告・届出年度の前年度の開催回数及び報告・届出年度の開催見込数を記入すること。
 - （2）「剖検数」欄は、報告・届出年度の前年度の剖検件数及び報告・届出年度の剖検見込数を記入すること。
 - （3）「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「1. 有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「0. 無」に○をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「（ ）大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「（ ）病院」に当該病院名を記入すること。
- 20 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄について
- （1）「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎（当該病院の敷地の内外を問わない。）を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「0. 無」に○をつけるとともに、住宅手当の支給内容（全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等）を記入すること（住宅手当を支給していない場合には「0円」と記入すること。）。
 - （2）「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「0. 無」に○をつけること。
- 21 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄について
- （1）「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「1. 有」に○をつけ、利用できない場合には「0. 無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他（ ）」にその内容を記入すること。
 - （2）「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他（ ）」にその内容を記入すること。
- 22 「病歴管理体制」欄について
- （1）「診療に関する諸記録の管理方法」欄は、診療に関する諸記録（診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等）に関する管理方法について、主に中央管理を行っている場合には「1. 中央管理」、主に各科管理を行っている場合には「2. 各科管理」に○をつけること。また、いずれにも該当しない場合は「その他」欄にその内容を具体的に記入すること。
 - （2）「診療録の保存方法」欄は、診療録を文書により保存している場合には「1. 文書」、電子媒体により保存している場合には「2. 電子媒体」に○をつけること。また、双方併用で保存している場合等は「その他」欄に具体的に記入すること。
- 23 「医療安全管理体制」欄について
- （1）「安全管理者の配置状況」欄は、安全管理者を配置している場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その人数を記入すること。また、安全管理者を配置していない場合には「0. 無」に○をつけること。
 - （2）「安全管理部門の設置状況」欄は、安全管理部門の専任職員及び兼任職員の数をそれぞれ記入するとともに、安全管理部門の主な活動内容を記入すること。
 - （3）「患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況」欄は、患者相談窓口の責任者の氏名及び役職並びに患者相談への対応時間を記入するとともに、患者相談窓口に係る規約を有する場合は「1. 有」に○をつけ、有さない場合には「0. 無」に○をつけること。
- 24 「現に受け入れている研修医数」欄は、当該病院で実際に研修した全ての研修医数を記入すること。基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院である場合は、協力型として受け入れた研修医も合計すること。基幹型臨床研修病院として管理している研修医が、協力型臨床研修病院で1年間研修を行い、基幹型臨床研修病院である当該病院で研修を行わない場合は、数に含まないこと。
- 25 「受入可能定員」欄は、医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）からの算出（÷10）及び年間入院患者数（報告・届出年度の前々年度からの繰越患者数＋報告・届出年度の前年度の新規入院実患者数）からの算出（÷100）の双方とも記入すること。
- 26 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該病院が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。
- 27 「前年度に育児休業を取得した研修医の数」は、当該年度に育児休業を取得した研修医がいる場合は、男女、年次別にその人数を記入すること。
- 28 「研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項」欄については、
- （1）「院内保育所」欄は、病院内に保育所等の保育施設を有している場合は「1. 有」に○をし、保育所の基本的な開所時間を記入すること。ない場合には「0. 無」に○をすること。「病児保育」・「夜間保育」欄は、院内保育所で病児保育・夜間保育を行っている場合は、それぞれにつき「1. 有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に○をすること。「上記保育所は研修医の子どもにも使用可能か」欄は、上記で回答した保育所に研修医が子どもを預けることが可能な場合は「1. 可」に○をし、預けることができない場合は「0. 不可」に○をすること。
 - （2）「保育補助」欄は、ベビーシッター・一時保育等利用時の補助を病院が行っている場合は「1. 有」に○をし、ない場合は「0. 無」に○をすること。その他に何らかの保育補助を行っている場合は、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
 - （3）「体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所」欄は、病院内に研修医が使用できる休憩場所や授乳スペースを有している場合は、それぞれにつき「1. 有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に○をすること。
 - （4）「その他育児関連施設・取組」欄は、上記（1）～（3）に該当しない、育児関連施設を有している場合や育児関連の取組を行っている場合（院外施設・制度との連携した取組も含む）は、回答欄内にその内容を具体的に記入すること。
 - （5）「研修医のライフイベント相談窓口」欄は、病院内に研修医がライフイベントについて相談できる窓口を設置している場合は「1. 有」に○をし、ない場合は「0. 無」に○をすること。「1. 有」を選択した病院は、その窓口の名称がある場合は記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「0. 無」に○をすること。
 - （6）「各種ハラスメント相談窓口」欄は、病院内に研修医が各種ハラスメントについて相談できる窓口の名称について記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「0. 無」に○をすること。
- 29 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。
- 30 「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「1. 有」を選択した場合は、EPOCかその他を選択すること。

31 「研修医の募集定員」については、当該病院で臨床研修を行っている1年次及び2年次の合計が受入可能定員を超えないこと。

32 「研修医の募集及び採用の方法」欄について

- (1) 「募集方法」欄は、研修医を公募により募集する場合には「1. 公募」に○をつけ、その他の方法とする場合にはその他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (2) 「応募必要書類」欄は、研修医が選考に応募する際に必要な書類全てに○をつけ、その他に必要な書類がある場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (3) 「選考方法」欄は、研修医の選考方法について該当するもの全てに○をつけ、その他に選考方法を設ける場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (4) 「募集及び選考の時期」欄は、募集及び選考の時期について、具体的に記入すること。
- (5) 「マッチング利用の有無」欄は、マッチングを利用する場合には「1. 有」に○をし、マッチングを利用しない場合には「0. 無」に○をすること。

33 「研修医の処遇」欄について

- (1) 「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院は、2に○をつけ、以降の研修医の処遇の各項目について記入すること。また、協力型臨床研修病院は、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、1に○をつけ（この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくとも差し支えないこと。）、また、病院独自の処遇とする場合には、2に○をつけること。
- (2) 「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、1年次及び2年次の基本手当の額（税込み）、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「1. 有」に、支給しない場合には「0. 無」に○をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。
- (3) 「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「1. 有」に、ない場合には「0. 無」に○をつけること。
- (4) 「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、1年次及び2年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有無について該当するものに○をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。
- (5) 「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。
- (6) 「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（ ）」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（ ）」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに○をつけること。
- (7) 「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。
- (8) 「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに○をつけること。
- (9) 「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに○をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに○をつけること。

基幹型又は地域密着型病院の名称（所在都道府県）： 京都第二赤十字病院（京都府）

基幹型又は地域密着型病院				協力型病院					臨床研修協力施設					研修プログラム			
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員		
京都府	京都・乙訓	京都第二赤十字病院 (病院施設番号：030477)		京都府	丹後		京丹後市立弥栄病院 (病院施設番号：031025)					(病院施設番号：)		京都第二赤十字病院臨床研修Gプログラム	17		
				京都府	丹後		京丹後市立久美浜病院 (病院施設番号：031726)						(病院施設番号：)				
				京都府	京都・乙訓		京都市立京北病院 (病院施設番号：031729)							(病院施設番号：)			
				京都府	京都・乙訓		医療法人三幸会第二北山病院 (病院施設番号：031730)							(病院施設番号：)			
				京都府	京都・乙訓		医療法人三幸会北山病院 (病院施設番号：031731)							(病院施設番号：)			
				京都府	中丹		舞鶴赤十字病院 (病院施設番号：076187)							(病院施設番号：)			
				京都府	京都・乙訓	追加	京都府立医科大学附属病院 (病院施設番号：030483)							(病院施設番号：)			
							(病院施設番号：)							(病院施設番号：)			
							(病院施設番号：)							(病院施設番号：)			

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

当院は京都市内の中核病院として各科がそろっており、十分なプライマリケアを学ぶために必要な研修医教育を一貫して行うことが出来るが、地域医療に関しては、京都市内ではなく同一の二次医療圏を超えた過疎地の拠点病院で研修することでより充実した研修を行えるため。

- ※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。
- ※ 病院群を構成するすべての基幹型病院、地域密着型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」、「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。
- ※ 当該病院群に係るすべての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む）を「研修プログラム」欄に記入すること。

6.研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和5年度開催回数5回）

病院施設番号： 030477 臨床研修病院の名称： 京都第二赤十字病院

氏名	所属	役職	備考
魚嶋伸彦	京都第二赤十字病院	副院長	研修管理委員長・指導医
岡野晋治	京都第二赤十字病院	第1外科部長	プログラム責任者・指導医
小林裕	京都第二赤十字病院	院長	指導医
永金義成	京都第二赤十字病院	脳神経内科部長	副プログラム責任者・指導医
西川正典	京都第二赤十字病院	歯科口腔外科副部長	
宇野耕治	京都第二赤十字病院	消化器内科部長	指導医
加納原	京都第二赤十字病院	小児科部長	指導医
榎村史織	京都第二赤十字病院	産婦人科部長	指導医
前林佳朗	京都第二赤十字病院	精神科部長	指導医
石井亘	京都第二赤十字病院	第1救急科部長	指導医
成宮博理	京都第二赤十字病院	第2救急科部長	指導医
平田学	京都第二赤十字病院	副院長 第1麻酔科部長	指導医
山崎真裕	京都第二赤十字病院	糖尿病内分泌・膠原病内科 部長/第1検査部長	指導医
小川智恵美	京都第二赤十字病院	看護部長	
友金幹視	京都第二赤十字病院	薬剤部長	
壺内賢一	京都第二赤十字病院	事務部長	
谷口治郎	京都第二赤十字病院	教育研修課長	
澤田親男	北山病院	院長	研修実施責任者
守時通演	第二北山病院	院長代行	研修実施責任者
神谷匡昭	弥栄病院	院長	研修実施責任者
岩見均	久美浜病院	特別参与	研修実施責任者
安田達行	京都市立京北病院	副院長	研修実施責任者
片山義敬	舞鶴赤十字病院	院長	研修実施責任者
諸富徹	京都大学大学院	経済学研究科教授	外部委員

※ 1ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。

「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。

欄が足りない場合には、セルの挿入により対応すること。

12.診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和5年度分)

		臨床研修病院の名称		京都第二赤十字病院																							
		病院施設番号		030477																							
区分	内科	救急部門	外科	麻酔科 (部門)	小児科	産婦人科	又は		精神科	病院で定めた 必修科目の診療科							その他の 研修を行う診療科							合計			
							産科	婦人科		整形外科	形成外科	泌尿器科	道外科	耳鼻咽喉科	心臓血管科	脳神経外科	呼吸器科	皮膚科	眼科	放射線科	病理診断科	健診部	検査部		腫瘍内科		
年間入院患者実数 ()内は救急件数又は分娩件数	5,578	2,205 (16,939)	932		1,489	770 (143)				1,271	134	876	577	176	170	222	87	679									15,166
年間新外来患者数	4,384	9,649	396		954	820			169	1,210	647	624	1,035	121	309	45	502	810	220								21,895
1日平均外来患者数 ()内は年間外来診療日数	437.3 (242)	40.0 (366)	73.7 (242)	(0)	53.7 (242)	56.9 (242)	(0)	(0)	49.1 (242)	104.8 (242)	26.5 (242)	56.7 (242)	48.1 (242)	11.5 (242)	24.2 (242)	13.8 (242)	53.0 (242)	75.4 (242)	28.3 (242)	(0)			(0)	(0)			
平均在院日数	11.3	7.2	10.4		4.8	6.1				14.6	19.2	7.6	6.7	17.2	23.1	8.6	9.4	1.6									
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導医)数)	60.0 (27)	14.0 (4)	15.0 (11)	12.0 (5)	12.0 (5)	5.0 (2)			3.0 (1)	10.0 (3)	4.0 (1)	5.0 (2)	4.0 (3)	2.0 (1)	4.0 (1)	3.0 (1)	4.0 (1)	6.0 (2)	11.0 (2)	3.0 (1)	2.0 (1)	2.0 (0)	2.0 (0)	2.0 (0)	183.0 (74)		

※ 「年間入院患者実数」とは、申請年度の前々年度の繰越患者数に申請年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、申請年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数(小数第二位を四捨五入)とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙(様式自由)に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、10.の救急医療の実績の前年度の件数及び14.の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

※ 基幹型指定申請においては、内科及び救急部門に係る患者の症例リストを添付すること。(様式任意)

診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令 和 5 年 度 分)		臨 床 研 修 病 院 病 院 の 名 称					京都第二赤十字病院								
		病 院 施 設 番 号					030477								
基幹型病院名	担当分野	1～	5～	9～	13～	17～	21～	25～	29～	33～	37～	41～	45～	49～	
		4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週	
京都第二赤十字病院	内 科	13	7	6	13	10	7	10	7	10	10	6	5	5	
京都第二赤十字病院	救 急 部 門	5	2	2	2	3	4	3	2	2	2	2	3	3	
京都第二赤十字病院	外 科	2	0	0	1	1	3	2	2	2	0	1	0	0	
京都第二赤十字病院	麻 酔 科	6	3	3	5	5	3	1	2	3	3	4	4	3	
京都第二赤十字病院	小 児 科	4	2	1	3	4	4	4	3	2	1	2	2	2	
京都第二赤十字病院	産 婦 人 科	2	0	0	2	1	2	1	3	2	2	2	2	2	
京都第二赤十字病院	精 神 科	0	1	0	2	2	2	2	2	2	1	1	2	1	
京都府立医科大学附属病院	内 科	5	3	1	3	3	1	0	1	1	0	2	3	2	
京都府立医科大学附属病院	麻 酔 科	0	0	0	1	1	3	4	1	0	0	0	0	0	
京都府立医科大学附属病院	救 急 部 門	0	0	0	1	1	0	0	1	2	2	2	1	2	
京都府立医科大学附属病院	産 婦 人 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
京都府立医科大学附属病院	小 児 科	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	1	0	
京都府立医科大学附属病院	外 科	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	
鞍馬口医療センター	小 児 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
鞍馬口医療センター	救 急 部 門	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
研修医数 (合計)	内 科	18	10	7	16	13	8	10	8	11	10	8	8	7	
	救 急 部 門	5	2	2	3	4	4	3	3	4	4	4	4	6	
	地 域 医 療	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	外 科	2	0	0	1	1	3	3	2	3	0	1	0	0	
	麻 酔 科	6	3	3	6	6	6	5	3	3	3	4	4	3	
	小 児 科	4	2	1	3	4	4	4	4	3	4	2	3	2	
	産 婦 人 科	2	0	0	2	1	2	1	3	2	2	2	2	2	
	精 神 科	0	1	0	2	2	2	2	2	2	1	1	2	1	
一 般 外 来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。
また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和6年度分)		臨床研修病院病院の名称					京都第二赤十字病院								
		病院施設番号					030477								
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週	
京都第二赤十字病院	内科	13	7	6	13	10	7	10	7	10	10	6	5	5	
京都第二赤十字病院	救急部門	5	2	2	2	3	4	3	2	2	2	2	3	3	
京都第二赤十字病院	外科	2	0	0	1	1	3	2	2	2	0	1	0	0	
京都第二赤十字病院	麻酔科	6	3	3	5	5	3	1	2	3	3	4	4	3	
京都第二赤十字病院	小児科	4	2	1	3	4	4	4	3	2	1	2	2	2	
京都第二赤十字病院	産婦人科	2	0	0	2	1	2	1	3	2	2	2	2	2	
京都第二赤十字病院	精神科	0	1	0	2	2	2	2	2	2	1	1	2	1	
京都府立医科大学附属病院	内科	5	3	1	3	3	1	0	1	1	0	2	3	2	
京都府立医科大学附属病院	麻酔科	0	0	0	1	1	3	4	1	0	0	0	0	0	
京都府立医科大学附属病院	救急部門	0	0	0	1	1	0	0	1	1	2	2	1	1	
京都府立医科大学附属病院	産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
京都府立医科大学附属病院	小児科	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	1	0	
京都府立医科大学附属病院	外科	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	
京都府立医科大学附属病院北部医療センター	内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
京都府立医科大学附属病院北部医療センター	麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
京都府立医科大学附属病院北部医療センター	救急部門	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
京都府立医科大学附属病院北部医療センター	小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
京都府立医科大学附属病院北部医療センター	外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
京都鞍馬口医療センター	救急部門	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
研修医数(合計)	内科	18	10	7	16	13	8	10	8	11	10	8	8	7	
	救急部門	6	2	3	4	4	4	3	3	3	4	4	4	4	
	地域医療	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	外科	2	0	0	1	1	3	3	2	3	0	1	0	0	
	麻酔科	6	3	3	6	6	6	5	3	3	3	4	4	3	
	小児科	4	2	1	3	4	4	4	4	3	3	2	3	2	
	産婦人科	2	0	0	2	1	2	1	3	2	2	2	2	2	
	精神科	0	1	0	2	2	2	2	2	2	1	1	2	1	
一般外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別業で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別業で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数(研修期間4週について1人とすること)を記入すること。
また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令 和 7 年 度 分)		臨床研修病院病院の名称					京都第二赤十字病院								
		病院施設番号					030477								
基幹型病院名	担当分野	1~ 4週	5~ 8週	9~ 12週	13~ 16週	17~ 20週	21~ 24週	25~ 28週	29~ 32週	33~ 36週	37~ 40週	41~ 44週	45~ 48週	49~ 52週	
京都第二赤十字病院	内科	13	7	6	13	10	7	10	7	10	10	6	5	5	
京都第二赤十字病院	救急部門	5	2	2	2	3	4	3	2	2	2	2	3	3	
京都第二赤十字病院	外科	2	0	0	1	1	3	2	2	2	0	1	0	0	
京都第二赤十字病院	麻酔科	6	3	3	5	5	3	1	2	3	3	4	4	3	
京都第二赤十字病院	小児科	4	2	1	3	4	4	4	3	2	1	2	2	2	
京都第二赤十字病院	産婦人科	2	0	0	2	1	2	1	3	2	2	2	2	2	
京都第二赤十字病院	精神科	0	1	0	2	2	2	2	2	2	1	1	2	1	
京都府立医科大学附属病院	内科	5	3	1	3	3	1	0	1	1	0	2	3	2	
京都府立医科大学附属病院	麻酔科	0	0	0	1	1	3	4	1	0	0	0	0	0	
京都府立医科大学附属病院	救急部門	0	0	0	1	1	0	0	1	1	2	2	1	1	
京都府立医科大学附属病院	産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
京都府立医科大学附属病院	小児科	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	1	0	
京都府立医科大学附属病院	外科	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	
京都府立医科大学附属病院北部医療センター	内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
京都府立医科大学附属病院北部医療センター	麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
京都府立医科大学附属病院北部医療センター	救急部門	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
京都府立医科大学附属病院北部医療センター	小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
京都府立医科大学附属病院北部医療センター	外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
京都鞍馬口医療センター	救急部門	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
京都岡本記念病院	小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
研修医数(合計)	内科	18	10	7	16	13	8	10	8	11	10	8	8	7	
	救急部門	6	2	3	4	4	4	3	3	3	4	4	4	4	
	地域医療	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	外科	2	0	0	1	1	3	3	2	3	0	1	0	0	
	麻酔科	6	3	3	6	6	6	5	3	3	3	4	4	3	
	小児科	4	2	1	3	4	4	4	4	3	3	2	3	2	
	産婦人科	2	0	0	2	1	2	1	3	2	2	2	2	2	
	精神科	0	1	0	2	2	2	2	2	2	1	1	2	1	
	一般外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。
また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和 8 年 度 分)		臨床研修病院 病院の名称					京都第二赤十字病院								
		病院施設番号					030477								
基幹型病院名	担当分野	1～	5～	9～	13～	17～	21～	25～	29～	33～	37～	41～	45～	49～	
		4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週	
京都第二赤十字病院	内科	13	7	6	13	10	7	10	7	10	10	6	5	5	
京都第二赤十字病院	救急部門	5	2	2	2	3	4	3	2	2	2	3	3		
京都第二赤十字病院	外科	2	0	0	1	1	3	2	2	2	0	1	0		
京都第二赤十字病院	麻酔科	6	3	3	5	5	3	1	2	3	3	4	4		
京都第二赤十字病院	小児科	4	2	1	3	4	4	4	3	2	1	2	2		
京都第二赤十字病院	産婦人科	2	0	0	2	1	2	1	3	2	2	2	2		
京都第二赤十字病院	精神科	0	1	0	2	2	2	2	2	2	1	1	2		
京都府立医科大学附属病院	内科	5	3	1	3	3	1	0	1	1	0	2	3		
京都府立医科大学附属病院	麻酔科	0	0	0	1	1	3	4	1	0	0	0	0		
京都府立医科大学附属病院	救急部門	0	0	0	1	1	0	0	1	1	2	2	1		
京都府立医科大学附属病院	産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
京都府立医科大学附属病院	小児科	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	1		
京都府立医科大学附属病院	外科	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0		
京都府立医科大学附属病院北部医療センター	内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
京都府立医科大学附属病院北部医療センター	麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
京都府立医科大学附属病院北部医療センター	救急部門	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
京都府立医科大学附属病院北部医療センター	小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
京都府立医科大学附属病院北部医療センター	外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
京都鞍馬口医療センター	救急部門	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0		
京都岡本記念病院	小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
研修医数(合計)	内科	18	10	7	16	13	8	10	8	11	10	8	8		
	救急部門	6	2	3	4	4	4	3	3	3	4	4	4		
	地域医療	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	外科	2	0	0	1	1	3	3	2	3	0	1	0		
	麻酔科	6	3	3	6	6	6	5	3	3	3	4	4		
	小児科	4	2	1	3	4	4	4	4	3	3	2	3		
	産婦人科	2	0	0	2	1	2	1	3	2	2	2	2		
	精神科	0	1	0	2	2	2	2	2	2	1	1	2		
一般外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別業で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別業で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数(研修期間4週について1人とすること)を記入すること。
また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

29.研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号：

病院施設番号： 030477

臨床研修病院の名称： 京都第二赤十字病院

臨床研修病院群番号： 0304775

臨床研修病院群名： 京都第二赤十字臨床研修病院群

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1.研修プログラム名称		京都第二赤十字病院臨床研修Hプログラム			
2.研修プログラムの特色		指導医と1:1の関係で臨床指導を行う。お互いの連携を取りやすくさせ、地域医療を2ヶ月研修し、プライマリケアを修得します。			
3.臨床研修の目標の概要		初期治療、救急医療などの基本的知識及び技術を習得するだけでなく「思いやり」と「患者の立場に立って」診療ができ、社会人として尊敬される医師の養成を目標とする。 画一的でなく自由な発想を育てるとともに、症例検討会・CPCなど勉強する機会を設け医術者だけでなく医学者としての姿勢を学ばせる。			
4.研修期間		(2)年 (原則として、「2年」と記入してください。)			
備考		内科、救急科、麻酔科についてはそのまま専門研修可能			
5.臨床研修を行う分野		研修分野ごとの病院又は施設(研修分野ごとの研修期間) * 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称(病院施設番号)を記入してください。 * 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。 各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。 * 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。			
		病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来
(記入例) × ×科		1234567	〇〇病院	〇週	〇週
必修科目・分野	内科	030477 031025 031726	京都第二赤十字病院 京丹後市立弥栄病院 京丹後市立久美浜病院	24週	一般外来1週
	救急部門	030477	京都第二赤十字病院	8週	
	救急部門(麻酔科)	030477	京都第二赤十字病院	4週	
	地域医療	034245 076187 031025 031726	京都市立京北病院 舞鶴赤十字病院 京丹後市立弥栄病院 京丹後市立久美浜病院	8週	一般外来 3週 在宅診療 1.5週
	外科	030477	京都第二赤十字病院	4週	一般外来1週
	小児科	030477	京都第二赤十字病院	8週	一般外来1週
	産婦人科	030477	京都第二赤十字病院	4週	
	精神科	030477 031730 031731	京都第二赤十字病院 医療法人三幸会 第二北山病院 医療法人三幸会 北山病院	4週	
	一般外来(単独実施のみ)			週	
	病院で科目めた	麻酔科	030477	京都第二赤十字病院	8週
外科系		030477	京都第二赤十字病院	4週	
				週	週
				週	週
選択科目		030477 031730 031731 034245 076187 031025 031726 030483	京都第二赤十字病院 医療法人三幸会 第二北山病院 医療法人三幸会 北山病院 京都市立京北病院 舞鶴赤十字病院 京丹後市立弥栄病院 京丹後市立久美浜病院 京都府立医科大学附属病院	24週	週
				週	週

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

病 院 施 設 番 号 :	030477	臨 床 研 修 病 院 の 名 称 :	京都第二赤十字病院
臨 床 研 修 病 院 群 番 号 :	0304775	臨 床 研 修 病 院 群 名 :	京都第二赤十字臨床研修病院群

6. 研修スケジュール(二年度)

プログラム番号 :

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。*1

(No.1)

病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分野 *2	1~4週				5~8週				9~12週				13~16週				17~20週				21~24週				25~28週				29~32週				33~36週				37~40週				41~44週				45~48週				49~52週							
京都第二赤十字病院 (030477)	外科系	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2				
京都第二赤十字病院 医療法人三幸会 第二北山病院 医療法人三幸会 北山病院 (030477 031730 031731)	精神科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1				
京都市立京北病院 舞鶴赤十字病院 京丹後市立弥栄病院 京丹後市立久美浜病院 (034245 076187 031025 031726)	地域医療 一般外来	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
京都第二赤十字病院 (030477)	小児科 一般外来	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3
京都第二赤十字病院 医療法人三幸会 第二北山病院 医療法人三幸会 北山病院 京都市立京北病院 舞鶴赤十字病院 京丹後市立弥栄病院 京丹後市立久美浜病院 京都府立医科大学附属病院 (030477 031730 031731 034245 076187 031025 031726 030483)	選択科目	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8	8	8	8	9	9	9	9	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	10	10	10	10	10	10	10	10	9	9	9	9				

*1:臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法(たすきがけ方式等)を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別業に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

*2:「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

*3:選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

病院施設番号： 30477 臨床研修病院の名称： 京都第二赤十字病院

担当分野①	担当分野② (兼任及び その他の 診療科)	専門分野	選択科目 の有無	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	勤務形態 (常勤or 非常勤)	指導医講習 会等の受講 経歴 有：○ 無：×	受講した 指導医講習会等名	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
1	内科	血液内科	○	小林 裕	京都第二赤十字病院	院長	44	常勤	○	日本赤十字社第7回臨床指導医養成講習会	4
2	内科	血液内科	○	魚嶋 伸彦	京都第二赤十字病院	副院長	37	常勤	○	日本内科学会認定医 臨床研修協議会令和2年度 プログラム責任者養成講習 会 日本内科学会総合内科専門 医 日本赤十字社第24回臨床 VHJ機構指導医養成講座	4
3	内科	血液内科	○	佐々木 奈々	京都第二赤十字病院	医長	27	常勤	○	日本内科学会認定内科医 令和5年度第17回京都府立 医科大学附属病院指導医	4
4	内科	血液内科	○	上辻 由里	京都第二赤十字病院	副部長	25	常勤	○	日本内科学会認定内科医 令和5年度第17回京都府立 医科大学附属病院指導医	4
5	内科	血液内科	○	山口 順子	京都第二赤十字病院	医師	12	常勤	○	日本内科学会認定内科医 令和5年度第17回京都府立 医科大学附属病院指導医	4
6	内科	血液内科	○	水原 健太郎	京都第二赤十字病院	医師	10	常勤	×		
7	内科	代謝・内分泌内 科 膠原病内科	○	山崎 真裕	京都第二赤十字病院	部長	27	常勤	○	日本内科学会認定内科医 日本糖尿病学会専門医 日本糖尿病学会研修指導 平成25年度第7回京都府立 医科大学附属病院指導医 講習会	4
8	内科	代謝・内分泌内 科	○	浅野 麻衣	京都第二赤十字病院	副部長	23	常勤	○	第3回三井記念病院臨床研 修指導医講習会	4
9	内科	代謝・内分泌内 科	○	加藤 さやか	京都第二赤十字病院	医長	16	常勤	○	日本内科学会 認定内科 日本内科学会総合内科専 門医	4
10	内科	腎臓内科	○	塩津 弥生	京都第二赤十字病院	部長	20	常勤	○	平成28年度第10回京都府 日本内科学会認定内科医	4
11	内科	腎臓内科	○	上原 乃梨子	京都第二赤十字病院	医長	12	常勤	○	日本医師会第19回指導医 のための教育ワーク	4
12	内科	腎臓内科	○	仲井 邦浩	京都第二赤十字病院	医師	10	常勤	×	日本内科学会 認定内科医	
13	内科	膠原病内科	○	葦田 祐司	京都第二赤十字病院	副部長	17	常勤	○	日本内科学会認定医 第14回京都府立医科大学 附属病院指導医講習会	4
14	内科	膠原病内科	○	祖父江 秀晃	京都第二赤十字病院	医師	11	常勤	×		
15	内科	消化器内科	○	宇野 耕治	京都第二赤十字病院	部長	34	常勤	○	第1回京都第二赤十字病院 臨床指導医養成講習会	4
16	内科	消化器内科	○	盛田 篤広	京都第二赤十字病院	部長	29	常勤	○	日本内科学会認定医 京都府医師会第8回指導医 のための教育ワーク 日本内科学会認定医・	4
17	内科	消化器内科	○	河村 卓二	京都第二赤十字病院	副部長	27	常勤	○	京都府医師会第8回指導医 のための教育ワーク 日本内科学会認定内科 医・指導医	4
18	内科	消化器内科	○	真田 香澄	京都第二赤十字病院	副部長	20	常勤	○	日本病院会2023年度第2回	4
19	内科	消化器内科	○	萬代 晃一朗	京都第二赤十字病院	副部長	20	常勤	×		
20	内科	消化器内科 腫瘍内科	○	白川 敦史	京都第二赤十字病院	部長	18	常勤	○	日本内科学会認定医 日本病院会2019年度第3回 臨床研修指導医養成講習 会 日本内科学会総合内科専 門医	4
21	内科	消化器内科	○	堀田 祐馬	京都第二赤十字病院	医長	16	常勤	○	日本内科学会認定内科医	4
22	内科	消化器内科	○	小川 智也	京都第二赤十字病院	医師	11	常勤	×	日本内科学会認定内科医	
23	内科	消化器内科	○	吉本 隆晃	京都第二赤十字病院	医師	9	常勤	×	日本内科学会認定内科 医・総合内科専門医	
24	内科	消化器内科	○	中村 志歩	京都第二赤十字病院	医師	8	常勤	×	日本内科学会内科専門医	
25	内科	循環器内科	○	白石 淳	京都第二赤十字病院	部長	29	常勤	○	平成22年度 第4回 京都 府立医科大学附属病院指 導医講習会	4
26	内科	循環器内科 検査部	○	井上 啓司	京都第二赤十字病院	部長	33	常勤	○	日本内科学会認定医 第1回京都第一赤十字病院 臨床指導医養成講習会 日本内科学会認定医	4
27	内科	循環器内科	○	橋本 恵則	京都第二赤十字病院	副部長	24	常勤	○	日本病院会2019年度第2回 臨床研修指導医講習会 日本内科学会認定医	4
28	内科	循環器内科	○	佐分利 誠	京都第二赤十字病院	医長	13	常勤	○	日本病院会2023年度第1回 臨床研修指導医講習会	4
29	内科	循環器内科	○	瀬上 雅雄	京都第二赤十字病院	医長	13	常勤	○	日本内科学会認定医・総 合内科専門医 日本病院会2023年度第3回	4
30	内科	循環器内科	○	民西 俊太	京都第二赤十字病院	医師	11	常勤	×	日本内科学会認定医・総 合内科専門医	
31	内科	循環器内科	○	辻 弓佳	京都第二赤十字病院	医師	11	常勤	×	日本内科学会認定医・総 合内科専門医	
32	内科	循環器内科	○	大倉 孝文	京都第二赤十字病院	医師	10	常勤	×	日本内科学会認定医	
33	内科	循環器内科	○	西村 哲朗	京都第二赤十字病院	医師	8	常勤	×		
34	内科	呼吸器内科	○	塩津 伸介	京都第二赤十字病院	部長	23	常勤	○	第13回日本赤十字社指導 医養成講習会 日本内科学会 認定内科	4
35	内科	呼吸器内科	○	吉村 彰雄	京都第二赤十字病院	医長	11	常勤	○	第35回日本赤十字社指導 医養成講習会 日本内科学会 認定内科	4
36	内科	呼吸器内科	○	谷村 真依	京都第二赤十字病院	医師	9	常勤	×	日本内科学会認定内科医	
37	内科	呼吸器内科	○	平井 聡一	京都第二赤十字病院	医師	9	常勤	×		
38	内科	脳神経内科	○	永金 義成	京都第二赤十字病院	部長	29	常勤	○	平成22年度第4回京都府立 医科大学附属病院指導医 講習会	2・4
39	内科	脳神経内科	○	徳田 直輝	京都第二赤十字病院	医長	16	常勤	○	日本医師会第13回指導医 のための教育ワーク セッション	4
40	内科	脳神経内科	○	山本 敦史	京都第二赤十字病院	医長	13	常勤	○	日本赤十字社第28回臨床 研修指導医養成講習会 日本内科学会 認定内科医	4

病院施設番号： 30477 臨床研修病院の名称： 京都第二赤十字病院

担当分野①	担当分野② (兼任及び その他の 診療科)	専門分野	選択科目 の有無	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	勤務形態 (常勤or 非常勤)	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	受講した 指導医講習会等名	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）	
41	内科	内科	脳神経内科	○	小椋 史織	京都第二赤十字病院	医長	12	常勤	×	日本内科学会認定内科医・指導医	
42	内科	内科	脳神経内科	○	前国 志子	京都第二赤十字病院	医長	12	常勤	×	日本内科学会認定内科医・指導医	
43	内科	内科	脳神経内科	○	松浦 啓	京都第二赤十字病院	医長	11	常勤	×	日本内科学会認定内科医・指導医	
44	内科	内科	脳神経内科	○	清水 夢基	京都第二赤十字病院	医師	6	常勤	×	日本内科学会認定内科医	
45	内科	内科	脳神経内科	○	松岡 千穂	京都第二赤十字病院	医師	5	常勤	×	日本内科学会認定内科医	
46	外科	外科	外科	○	岡野 晋治	京都第二赤十字病院	部長	39	常勤	○	日本外科学会指導医 日本消化器外科学会指導医 第3回日本赤十字社指導医 養成講習会	1・4
47	外科	外科	外科	○	谷口 史洋	京都第二赤十字病院	部長	36	常勤	○	令和2年度プログラム責任 日本外科学会指導医	4
48	外科	外科	腫瘍内科 緩和ケア科	○	橋原 直樹	京都第二赤十字病院	部長	32	常勤	○	日本赤十字社第17回臨床 指導医養成講習会 日本医師会第15回指導医 のための教育ワーク ショップ	4
49	外科	外科	外科	○	武村 学	京都第二赤十字病院	副部長	29	常勤	○	日本外科学会専門医 平成30年度第12回京都府立 医科大学附属病院指導医講 習会	4
50	外科	外科	外科	○	小池 浩志	京都第二赤十字病院	副部長	29	常勤	○	第3回滋賀県病院協会臨床 研修指導医講習会	4
51	外科	外科	外科	○	中島 晋	京都第二赤十字病院	医長	27	常勤	○	日本外科学会専門医 平成24年開催地域志向型指 導医講習会	4
52	外科	外科	外科	○	伊藤 範朗	京都第二赤十字病院	医長	27	常勤	○	日本外科学会専門医	
53	外科	外科	外科	○	中村 吉隆	京都第二赤十字病院	医長	25	常勤	○	京都府医師会第8回指導医 のための教育ワーク 日本外科学会専門医	4
54	外科	外科	外科	○	氏家 和人	京都第二赤十字病院	医長	20	常勤	○	日本赤十字社第25回臨床 指導医養成講習会 第8回滋賀県病院協会臨床 研修指導医講習会	4
55	外科	外科	外科	○	荒谷 憲一	京都第二赤十字病院	医長	15	常勤	○	日本外科学会 外科専門医	4
56	外科	外科	外科	○	水谷 融	京都第二赤十字病院	医長	14	常勤	×	日本外科学会外科専門医	
57	麻酔科（部門）	麻酔科（部門）	麻酔科	○	平田 学	京都第二赤十字病院	副院長	32	常勤	○	日本医師会第5回指導医の ための教育ワークショップ	4
58	麻酔科（部門）	麻酔科（部門）	麻酔科	○	望月 則孝	京都第二赤十字病院	部長	29	常勤	○	第1回京都第一赤十字病院 臨床指導医養成講習会	4
59	麻酔科（部門）	麻酔科（部門）	麻酔科	○	有吉 多恵	京都第二赤十字病院	医師	19	常勤	×		
60	麻酔科（部門）	麻酔科（部門）	麻酔科	○	三田 建一郎	京都第二赤十字病院	副部長	18	常勤	○	日本病院会平成30年度第3 回臨床研修指導医講習会	4
61	麻酔科（部門）	麻酔科（部門）	麻酔科	○	坂井 麻祐子	京都第二赤十字病院	医師	16	常勤	×		
62	麻酔科（部門）	麻酔科（部門）	麻酔科	○	岡林 志帆子	京都第二赤十字病院	医師	15	常勤	○	令和4年度第16回京都府立 医科大学附属病院指導医 講習会	4
63	麻酔科（部門）	麻酔科（部門）	麻酔科	○	佐々木 敦	京都第二赤十字病院	医師	12	常勤	○	日本赤十字社第28回臨床 研修指導医養成講習会	4
64	麻酔科（部門）	麻酔科（部門）	麻酔科	○	内匠 有里恵	京都第二赤十字病院	医師	6	常勤	×		
65	救急部門	救急部門	救急科 乳癌外科	○	石井 亘	京都第二赤十字病院	部長	22	常勤	○	日本外科学会専門医 全国自治体病院協議会第 129回臨床研修指導医養成 講習会	4
66	救急部門	救急部門	救急科	○	成宮 博理	京都第二赤十字病院	部長	26	常勤	○	日本内科学会総合内科専 門医・指導医 日本赤十字社第18回臨床 研修指導医講習会	4
67	救急部門	救急部門	救急科	○	文野 裕美	京都第二赤十字病院	医長	25	常勤	×		
68	救急部門	救急部門	救急科	○	荒井 裕介	京都第二赤十字病院	副部長	15	常勤	○	令和元年度第13回京都府 立医科大学付属病院指導 医講習会	4
69	救急部門	救急部門	救急科	○	中村 嘉	京都第二赤十字病院	副部長	15	常勤	○	平成29年開催VHJ機構指 導医養成講座 日本救急医学会専門医	4
70	救急部門	救急部門	救急科	○	神島 研二	京都第二赤十字病院	医長	11	常勤	×		
71	救急部門	救急部門	救急科	○	宮国 遼太郎	京都第二赤十字病院	医長	11	常勤	×		
72	救急部門	救急部門	救急科	○	南出 大輝	京都第二赤十字病院	医師	7	常勤	×		
73	救急部門	救急部門	救急科	○	福盛 沙季	京都第二赤十字病院	医師	8	常勤	×		
74	救急部門	救急部門	救急科	○	峠 勇希	京都第二赤十字病院	医師	6	常勤	×		
75	小児科	小児科	小児科	○	加納 原	京都第二赤十字病院	部長	28	常勤	○	平成29年度第11回京都府 立医科大学附属病院指導 医講習会	4
76	小児科	小児科	小児科	○	藤井 法子	京都第二赤十字病院	副部長	28	常勤	○	平成24年度第6回京都府 立医科大学附属病院指導 医講習会	4
77	小児科	小児科	小児科	○	森岡 茂己	京都第二赤十字病院	医長	22	常勤	○	京都府医師会第18回指導 医のための教育ワーク ショップ	4
78	小児科	小児科	小児科	○	小林 奈歩	京都第二赤十字病院	医長	22	常勤	○	平成27年度第9回京都府 立医科大学附属病院指導 医講習会	4
79	小児科	小児科	小児科	○	東通 公人	京都第二赤十字病院	医長	21	常勤	×		
80	小児科	小児科	小児科	○	福原 正太	京都第二赤十字病院	医長	17	常勤	○	京都府医師会第18回指導 医のための教育ワーク ショップ	4

病院施設番号： 30477 臨床研修病院の名称： 京都第二赤十字病院

担当分野①	担当分野② (兼任及び その他の 診療科)	専門分野	選択科目 の有無	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	勤務形態 (常勤or 非常勤)	指導医講習 会等の受講 経歴 有：○ 無：×	受講した 指導医講習会等名	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
81	小児科	小児科	○	金山 拓蒼	京都第二赤十字病院	医師	16	常勤	×		
82	小児科	小児科	○	齋藤 多恵子	京都第二赤十字病院	医師	14	常勤	×		
83	小児科	小児科	○	久保 裕	京都第二赤十字病院	医師	13	常勤	×		
84	小児科	小児科	○	河瀬 泉	京都第二赤十字病院	医師	7	常勤	×		
85	産婦人科	産婦人科	○	樺村 史織	京都第二赤十字病院	部長	23	常勤	○	京都府医師会第18回指導医のための教育ワークショップ	4
86	産婦人科	産婦人科	○	加藤 聖子	京都第二赤十字病院	副部長	18	常勤	○	京都府医師会第11回指導医のための教育ワークショップ	4
87	産婦人科	産婦人科	○	秋山 誠	京都第二赤十字病院	医長	16	常勤	×		
88	産婦人科	産婦人科	○	小川 佳奈絵	京都第二赤十字病院	医師	15	常勤	×		
89	産婦人科	産婦人科	○	遠藤 理恵	京都第二赤十字病院	医師	15	常勤	×		
90	産婦人科	産婦人科	○	小嶋 哲	京都第二赤十字病院	医師	7	常勤	×		
91	精神科	精神科	○	前林 佳朗	京都第二赤十字病院	部長	33	常勤	○	第4回滋賀県病院協会臨床研修指導医講習会	4
92	精神科	精神科	○	河瀬 希望	京都第二赤十字病院	医師	18	常勤	×		
93	精神科	精神科	○	鈴木 智晴	京都第二赤十字病院	医師	7	常勤	×		
94	その他	脳神経外科	○	村上 陳訓	京都第二赤十字病院	部長	26	常勤	○	日本医師会第6回指導医のための教育ワークショップ	4
95	その他	脳神経外科	○	萩田 庄吾	京都第二赤十字病院	医長	11	常勤	×		
96	その他	脳神経外科	○	鎌田 一晃	京都第二赤十字病院	医師	7	常勤	×		
97	その他	呼吸器外科	○	柳田 正志	京都第二赤十字病院	部長	22	常勤	○	全国自治体病院協議会 全国国民健康保険診療施設協議会 第74回臨床研	4
98	その他	呼吸器外科	○	石川 成美	京都第二赤十字病院	医長	10	常勤	×		
99	その他	心臓血管外科	○	後藤 智行	京都第二赤十字病院	部長	23	常勤	○	日本医師会第8回指導医のための教育ワークショップ	4
100	その他	整形外科	○	藤原 浩芳	京都第二赤十字病院	副院長	32	常勤	○	平成20年度京都府立医科大学附属病院指導医講習会	4
101	その他	整形外科	○	福井 康人	京都第二赤十字病院	部長	25	常勤	○	日本赤十字社第21回臨床指導医養成講習会	4
102	その他	整形外科	○	谷口 有希子	京都第二赤十字病院	副部長	22	常勤	×		
103	その他	整形外科	○	平井 直文	京都第二赤十字病院	副部長	22	常勤	○	日本病院会平成29年度第1回臨床研修指導医養成会	4
104	その他	整形外科	○	喜馬 崇至	京都第二赤十字病院	医長	18	常勤	×		
105	その他	整形外科	○	阪田 宗弘	京都第二赤十字病院	医長	16	常勤	×		
106	その他	整形外科	○	國本 達哉	京都第二赤十字病院	医長	14	常勤	×		
107	その他	整形外科	○	井辻 智典	京都第二赤十字病院	医師	11	常勤	×		
108	その他	形成外科	○	恋水 諒源	京都第二赤十字病院	部長	17	常勤	○	平成27年度 第9回 京都府立医科大学附属病院指導医講習会	4
109	その他	形成外科	○	堀 とも子	京都第二赤十字病院	医師	7	常勤	×		
110	その他	外科	○	大西 美重	京都第二赤十字病院	医長	11	常勤	○	令和3年度第15回 京都府立医科大学附属病院指導医講習会	4
111	その他	外科	○	西田 真衣子	京都第二赤十字病院	医長	11	常勤	×		
112	その他	泌尿器科	○	山田 剛司	京都第二赤十字病院	副部長	22	常勤	○	日本病院会平成26年度第1回臨床研修指導医養成会	4
113	その他	泌尿器科	○	邵 仁哲	京都第二赤十字病院	部長	32	常勤	○	日本病院会平成28年度第2回臨床研修指導医講習会	4
114	その他	泌尿器科	○	早川 啓太	京都第二赤十字病院	医師	8	常勤	×		
115	その他	眼科	○	小嶋 健太郎	京都第二赤十字病院	部長	24	常勤	○	令和2年度第14回京都府立医科大学附属病院指導医講習会	4
116	その他	眼科	○	宮谷 崇史	京都第二赤十字病院	医長	11	常勤	×		
117	その他	眼科	○	澁井 洋文	京都第二赤十字病院	副部長	31	常勤	○	京都府医師会第10回指導医のための教育ワークショップ	4
118	その他	眼科	○	後藤 周	京都第二赤十字病院	医師	17	常勤	×		
119	その他	耳鼻咽喉科	○	内田 真哉	京都第二赤十字病院	部長	34	常勤	○	日本赤十字社第16回臨床指導医養成講習会	4
120	その他	耳鼻咽喉科	○	安田 誠	京都第二赤十字病院	部長	27	常勤	○	平成24年度第6回京都府立医科大学附属病院指導医講習会	4

病院施設番号： 30477 臨床研修病院の名称： 京都第二赤十字病院

担当分野①	担当分野② (兼任及び その他の 診療科)	専門分野	選択科目 の有無	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	勤務形態 (常勤or 非常勤)	指導医講習 会等の受講 経歴 有：○ 無：×	受講した 指導医講習会等名	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）	
121	その他	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科	○	森岡 繁文	京都第二赤十字病院	副部長	17	常勤	○	日本耳鼻咽喉科・頭頸部 外科学会耳鼻咽喉科専門 医	4
122	その他	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科	○	吉村 佳奈子	京都第二赤十字病院	医師	10	常勤	×		
123	その他	皮膚科	皮膚科	○	曾我 富士子	京都第二赤十字病院	部長	24	常勤	○	京都府医師会第11回指導 医のための教育ワーク ショップ	4
124	その他	皮膚科	皮膚科	○	山里 志穂	京都第二赤十字病院	副部長	14	常勤	×		
125	その他	皮膚科	皮膚科	○	前野 美里	京都第二赤十字病院	医師	8	常勤	×		
126	その他	放射線科	放射線治療科	○	清水 大介	京都第二赤十字病院	部長	23	常勤	○	平成27年度第9回京都府立 医科大学附属病院指導医 講習会	4
127	その他	放射線科	放射線治療科	○	佐々木 尚美	京都第二赤十字病院	医師	15	常勤	×		
128	その他	放射線科	放射線診断科	○	赤田 渉	京都第二赤十字病院	部長	30	常勤	○	日本医師会第5回指導医の ための教育ワークショップ	4
129	その他	放射線科	放射線診断科	○	永野 仁兵	京都第二赤十字病院	医長	18	常勤	×		
130	その他	放射線科	放射線診断科	○	山田 幸美	京都第二赤十字病院	医長	18	常勤	×		
131	その他	放射線科	放射線診断科	○	松浦 莉加	京都第二赤十字病院	医長	14	常勤	×		
132	その他	放射線科	放射線診断科	○	小澤 奈々	京都第二赤十字病院	医長	15	常勤	×		
133	その他	放射線科	放射線診断科	○	山端 康之	京都第二赤十字病院	医師	13	常勤	×		
134	その他	放射線科	放射線診断科	○	金森 千佳子	京都第二赤十字病院	医長	14	常勤	×		
135	病理(CPC)	病理(CPC)	病理診断科	○	安川 覚	京都第二赤十字病院	部長	26	常勤	○	平成28年度第10回京都府 立医科大学附属病院指導 医講習会	4
136	病理(CPC)	病理(CPC)	病理診断科	○	西村 綾子	京都第二赤十字病院	副部長	18	常勤	×		
137	病理(CPC)	病理(CPC)	病理診断科	○	富川 李紗	京都第二赤十字病院	医師	11	常勤	×		
138	その他	腫瘍内科	腫瘍内科	○	小野 寿子	京都第二赤十字病院	医長	16	常勤	×		
139	その他	臨床検査科	健診部 消化器内科		西大路 賢一	京都第二赤十字病院	部長	33	常勤	○	日本内科学会認定医 第1回京都第一赤十字病院 臨床指導医養成講習会	4
140	その他	臨床検査科	健診部 消化器内科		釜口 麻衣	京都第二赤十字病院	副部長	26	常勤	×		
141	地域医療		整形外科		片山 義敬	舞鶴赤十字病院	院長	42	常勤	○	大阪赤十字病院臨床研修 指導医養成講習会(H21年)	3・4
142	地域医療		内科		米山 聡嗣	舞鶴赤十字病院	副院長	33	常勤	○	京都第二赤十字病院臨床研 修指導医養成講習会(H21年)	4
141	地域医療		眼科		八木 秀和	舞鶴赤十字病院	眼科部長	29	常勤	×		
142	地域医療		内科		渡邊 晶子	舞鶴赤十字病院	第一内科医長	26	常勤	×		
143	地域医療		整形外科		仲川 春彦	舞鶴赤十字病院	整形外科部長	23	常勤	×		
144	地域医療		消化器内科		酒田 宗博	舞鶴赤十字病院	消化器科部長	28	常勤	×		
145	地域医療		眼科		小林 嶺央奈	舞鶴赤十字病院	眼科医師	7	常勤	×		
146	地域医療		循環器内科		宮脇 大典	舞鶴赤十字病院	循環器内科医長	11	常勤	×		
147	地域医療		外科		越智 史明	舞鶴赤十字病院	外科副部長	17	常勤	×		
148	地域医療		外科		玉井 瑞希	舞鶴赤十字病院	外科医師	8	常勤	×		
149	地域医療		整形外科		加太 佑吉	舞鶴赤十字病院	整形外科副部長	14	常勤	×		
150	地域医療		総合診療科		榊原 孝至	舞鶴赤十字病院	総合診療科部長	32	常勤	×		
151	地域医療		麻酔科		滝澤 洋之	舞鶴赤十字病院	麻酔科部長	44	常勤	○	京都第二赤十字病院臨床研 修指導医養成講習会(H21年)	4
152	地域医療		内科		西田 和夫	舞鶴赤十字病院	名誉院長	47	常勤	×		
153	地域医療	総合診療科	消化器外科		赤木 重典	京丹後市立久美浜病院	病院長	46	常勤	×		
154	地域医療	総合診療科	小児科		岩見 均	京丹後市立久美浜病院	特別参与	40	常勤	×		3
155	地域医療	総合診療科	泌尿器科		浦野 俊一	京丹後市立久美浜病院	副院長兼泌尿器科部長	32	常勤	○	平成15年度第11回新臨床 研修指導医養成講習会	4
156	地域医療	総合診療科	循環器内科		瀬尾 泰正	京丹後市立久美浜病院	副院長兼泌尿器科部長	32	常勤	○	平成15年度第12回新臨床 研修指導医養成講習会	4
157	地域医療	総合診療科	消化器内科		沖田 美香	京丹後市立久美浜病院	内科部長	26	常勤	○	令和4年度第166回臨床研 修指導医講習会	4
158	地域医療	総合診療科	消化器内科		山本 康	京丹後市立久美浜病院	診療部長兼佐濃診療所長	39	常勤	×		

病院施設番号： 30477 臨床研修病院の名称： 京都第二赤十字病院

担当分野①	担当分野② (兼任及び その他の 診療科)	専門分野	選択科目 の有無	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	勤務形態 (常勤or 非常勤)	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	受講した 指導医講習会等名	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
159	地域医療	総合診療科	小児外科	今津 正史	京丹後市立久美浜病院	副院長兼外科部長	31	常勤	○	平成21年度第74回臨床研修指導医養成講習会	4
160	地域医療	総合診療科	総合内科	山路 哲雄	京丹後市立久美浜病院	内科部長	16	常勤	○	平成27年度神戸大学医師臨床研修指導医講習会	4
161	地域医療	総合診療科	小児外科	神部 浩輔	京丹後市立久美浜病院	外科医長	10	常勤	○	令和6年度第167回臨床研修指導医講習会	4
162	地域医療		外科	安田 達行	京都市立京北病院	院長	41年	常勤	○	R6.2.11 R5年度 第3回 臨床研修指導医講習会終了 日本病院会開催	3・4
163	地域医療		内科	藤井 逸人	京都市立京北病院	診療部長	34年	常勤	○	H29.2.4地域医療に重点をおいた近畿厚生局指導医講習会	4
164	精神科	精神科	精神科	田村 潤一	第二北山病院	外来医長	43	常勤	○	平成16年度近畿地区精神科七者懇「臨床研修指導医講習会」	4
165	精神科	精神科	精神科	並河 東明	第二北山病院		29	常勤	○	平成17年度近畿地区精神科七者懇「臨床研修指導医講習会」	4
166	精神科	精神科	精神科	吉川 好美	第二北山病院		25	常勤	○	平成21年度西日本地区精神科七者懇「臨床研修指導医講習会」	4
167	精神科	精神科	精神科	守時 通演	第二北山病院	院長代行	20	常勤	×		3
168	精神科	精神科	精神科	谷 直介	北山病院	名誉院長	53	非常勤	○	四病院団体協議会主催平成17年度臨床研修指導医養成課程	
169	精神科	精神科	精神科	澤田 親男	北山病院	院長	29	常勤	○	平成16年度近畿地区精神科七者懇「臨床研修指導医講習会」	3・4
170	精神科	精神科	精神科	谷川 徹	北山病院	副院長	42	常勤	○	平成27年度精神科七者懇第1回「臨床研修指導医講習会」	4
171	精神科	精神科	精神科	山田 美和	北山病院	心療内科医長	32	常勤	○	平成27年度精神科七者懇第1回「臨床研修指導医講習会」	4
172	精神科	精神科	精神科	細井 哲	北山病院		29	非常勤	○	平成30年度精神科七者懇第1回「臨床研修指導医講習会」	
173	精神科	精神科	精神科	加嶋 晶子	北山病院		28	常勤	○	平成16年度近畿地区精神科七者懇「臨床研修指導医講習会」	4
174	精神科	精神科	精神科	原田 倫治	北山病院	医局長	24	常勤	○	平成17年度近畿地区精神科七者懇「臨床研修指導医講習会」	4
175	精神科	精神科	精神科	柏 由紀子	北山病院		23	常勤	○	平成29年度精神科七者懇第3回「臨床研修指導医講習会」	4
176	精神科	精神科	精神科	大山 忠憲	北山病院	診療科長	19	常勤	○	平成28年度精神科七者懇第1回「臨床研修指導医講習会」	4
177	地域医療	内科	循環器内科	神谷 匡昭	京丹後市立弥栄病院	院長	38	常勤	○	平成24年度プログラム責任者養成講習会（西日本病院会主催） 平成19年度VHAI研修指導医養成課程	3・4
178	地域医療	産婦人科	産婦人科	池田 義和	京丹後市立弥栄病院	特別参加	41	常勤	○	平成28年度日本医師会「指導医のための教育ワークショップ」修了	4
179	地域医療	総合診療科	外科	高塚 聡	京丹後市立弥栄病院	副院長兼外科部長	33	常勤	×		
180	地域医療	眼科	眼科	高原 誠治	京丹後市立弥栄病院	副院長	31	常勤	○	平成17年度京都大学医学部附属病院医師臨床研修指導医講習会	4
181	地域医療	産婦人科	産婦人科	荻野 嘉夫	京丹後市立弥栄病院	副院長兼産婦人科部長	40	常勤	○	平成26年度日本医師会「第11回指導医のための教育ワークショップ」修了	4
182	地域医療	総合診療科	泌尿器科	田中 総之	京丹後市立弥栄病院	泌尿器科部長	35	常勤	×		
183	地域医療	総合診療科	産婦人科	高島 美佳	京丹後市立弥栄病院	婦人科部長	28	常勤	×		
184	地域医療	内科	循環器内科	足立 淳郎	京丹後市立弥栄病院	診療部長兼循環器内科部長	21	常勤	○	平成28年度地域医療に重点をおいた近畿厚生局指導医講習会	4
185	地域医療	総合診療科	総合診療	高原 文治	京丹後市立弥栄病院	総合診療科部長	16	常勤	○	平成30年度徳島県臨床研修指導医養成講習会修了	4
186	地域医療	総合診療科	内科	大阿久 達郎	京丹後市立弥栄病院	内科医長	13	常勤	×		
187	地域医療	総合診療科	外科	成田 公昌	京丹後市立弥栄病院	外科医長	31	常勤	○	令和2年度第20回岐阜県医師育成・確保プロジェクト臨床研修指導医講習会修了	4

※ 「担当分野①」欄には、内科、救急部門、外科、麻酔科、小児科、産婦人科（産科・婦人科選択可）、精神科、地域医療分野、病理（CPC）及びその他を記入すること。
 ※ 「担当分野②」には兼任している診療科、病院で定めた必修科目の診療科及びその他研修を行う診療科を記入すること。
 ※ 「専門分野」には呼吸器内科、消化器内科、呼吸器外科、消化器外科等を記入すること。記入した「専門分野」が選択科目の場合「選択科目の有無」に○を記入すること。
 ※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
 ※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入すること。
 ※ 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者
 ※ 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（8月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者
なお、基礎研究医プログラムの指導医には、「基礎研究歴7年以上」もしくは「7年未満」いずれかを「臨床経験年数」欄に明記すること。
 ※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること。
 ※ 欄が足りない場合には、セルの挿入により対応すること。

担当分野①	担当分野②
内科	内科
救急部門	救急部門
外科	外科
麻酔科（部門）	麻酔科（部門）
小児科	小児科
産婦人科	産婦人科
産科	産科
婦人科	婦人科
精神科	精神科
地域医療	地域医療
病理(CPC)	病理(CPC)
その他	皮膚科
	泌尿器科
	脳神経外科
	整形外科
	形成外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	リハビリテーション科
	放射線科
	臨床検査科
	総合診療科

25.臨床研修病院群の時間外・休日労働最大想定時間数の記載（基幹型記入）

別紙5

基幹型病院の名称（所在都道府県）：京都第二赤十字病院

（京都府）

プログラムの名称：Hプログラム

病院名	病院施設番号	種別	所在都道府県	時間外・休日労働 (年単位換算) 最大想定時間数	およその当直・日直回数 ※宿日直許可が取れている場合はその旨を記載	参考 時間外・休日労働 (年単位換算) 前年度実績	C-1水準 適用
京都第二赤十字病院	030477	基幹型	京都府	960時間	月4回程度 48回 宿日直許可なし	914時間	
京丹後市立弥栄病院	031025	協力型	京都府	600時間	月当直2回、日当直1回程度 宿日直許可あり	約730時間	
京丹後市立久美浜病院	031726	協力型	京都府	300時間	月当直2回、日当直2回程度 宿日直許可あり	約300時間	
京都市立京北病院	031729	協力型	京都府	500時間	月3～4回 宿日直許可あり	約500時間	
医療法人三幸会第二北山病院	031730	協力型	京都府	0時間	臨床研修医の当直・日直なし	0時間	
医療法人三幸会北山病院	031731	協力型	京都府	0時間	臨床研修医の当直・日直なし	0時間	
舞鶴赤十字病院	076187	協力型	京都府	0時間	月2～4回 宿日直許可あり	0時間	
京都府立医科大学附属病院	030483	協力型	京都府	600時間			

- ※ 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入すること。
- 研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度（プログラム開始年度）の想定を記入すること。
- ※ 該当する項目について、基幹型臨床研修病院を筆頭にして、研修医と雇用契約を締結する協力型臨床研修病院について、施設番号順に詰めて記入すること。
- ※ 病院群を構成する基幹型臨床研修病院及び研修医と雇用契約を締結する協力型臨床研修病院の病院施設番号、病院種別（基幹型・協力型）、所在都道府県、時間外・休日労働（年単位換算）の最大想定時間数、およその当直・日直回数（宿日直許可が取れている場合はその旨）、前年度の時間外休日労働の年単位換算実績及び、C-1水準適用の状況を記入すること。
- ※ 最大想定時間数は、プログラムに従事する臨床研修医が、該当する研修病院において実際に従事することが見込まれる時間数について、前年度実績も踏まえ、実態と乖離することのないよう、適切に記入すること。
- ※ 臨床研修医においては、従事する全ての業務が研修プログラムに基づくものとなるため、A水準又はC-1水準しか適用されないことに留意すること。
- ※ 欄が足りない場合には、セルの挿入により対応すること。

研修医名簿

病院施設番号： 030477 臨床研修病院の名称： 京都第二赤十字病院 記入日： 西暦 2024 年 4 月 30 日

番号	氏名	生年月日	医籍番号	医籍登録年月日	研修開始年月日	研修プログラム番号	備考
1	青井 徹朗	1999/3/11	593449	2023/3/20	2023/4/1	030477507	
2	岡部 将一	1997/2/14	594698	2023/3/23	2023/4/1	030477507	
3	小田 智水	1997/10/2	593209	2023/3/20	2023/4/1	030477507	
4	加寛 浩太郎	1997/11/7	593215	2023/3/20	2023/4/1	030477507	
5	貴志 裕一	1997/7/21	597407	2023/3/27	2023/4/1	030477507	
6	久保田 智成	1997/12/6	597882	2023/3/27	2023/4/1	030477507	
7	坂部 興人	1998/2/16	593457	2023/3/20	2023/4/1	030477507	
8	中塚 大貴	1998/1/9	598794	2023/3/28	2023/4/1	030477507	
9	林 大奨	1997/5/10	593444	2023/3/20	2023/4/1	030477507	
10	半谷 圭吾	1997/8/12	593533	2023/3/20	2023/4/1	030477507	
11	平田 理子	1997/11/13	593092	2023/3/20	2023/4/1	030477507	
12	藤井 翔太	1997/10/6	593461	2023/3/20	2023/4/1	030477507	
13	丸岡 典	1997/7/25	594136	2023/3/22	2023/4/1	030477507	
14	村田 洋平	1994/5/23	601448	2023/4/3	2023/4/1	030477507	
15	横江 賢一郎	1983/11/19	593218	2023/3/20	2023/4/1	030477507	
16	吉田 佳世	1999/2/21	595672	2023/3/24	2023/4/1	030477507	
17	阿部 馨介	1997/8/30	603999	2024/3/21	2024/4/1	030477507	
18	川上 弘晃	1995/9/21	606080	2024/3/25	2024/4/1	030477507	
19	韓 宜達	2000/3/11	602398	2024/3/18	2024/4/1	030477507	
20	北村 江梨	1996/9/20	602412	2024/3/18	2024/4/1	030477507	
21	清水 智志	1997/5/10	602815	2024/3/19	2024/4/1	030477507	
22	白土 新菜	1999/4/20	607529	2024/3/26	2024/4/1	030477507	
23	高畑 晴興	1998/9/29	604452	2024/3/22	2024/4/1	030477507	
24	南條 和也	2000/1/26	609011	2024/3/28	2024/4/1	030477507	
25	丹尾 美希	1998/1/19	609113	2024/3/28	2024/4/1	030477507	
26	橋爪 辰哉	1996/8/13	602409	2024/3/18	2024/4/1	030477507	
27	長谷川 翔一	1993/9/23	609108	2024/3/28	2024/4/1	030477507	
28	古市 遥菜	1999/9/8	605718	2024/3/25	2024/4/1	030477507	
29	松井 瑛人	1997/9/5	605721	2024/3/25	2024/4/1	030477507	
30	箕野 拓磨	1997/1/7	606582	2024/3/25	2024/4/1	030477507	
31	山本 哲太	1999/9/17	609780	2024/3/28	2024/4/1	030477507	
32	吉崎 駿	1997/5/31	605701	2024/3/25	2024/4/1	030477507	
33	和田 勇毅	1998/1/30	602423	2024/3/18	2024/4/1	030477507	

※ 自院研修プログラムで採用した研修医のみを記入すること。（採用予定を含む。）について研修開始年月日順に記入すること。（歯科医師は記入しない）

「研修開始年月日」欄には、当該研修医が最初に（中断がある場合は中断前に）研修を開始した年月日を記入すること。

「研修プログラム番号」欄には、当該研修医が研修を行っている研修プログラムの番号を記入すること。

「備考」欄には、当該研修医が過去に中断している場合に当該病院で研修を開始した年月日を記入すること。

欄が足りない場合には、セルの挿入により対応すること。